

2006年6月1日

各 位

オリックス株式会社取締役兼執行役副社長
オリックス・リアルエステート株式会社代表取締役社長
西名 弘明

㈱大阪シティドーム事業承継についてのご報告

オリックス株式会社は、本年5月23日に株式会社大阪シティドーム（以下、OCD）と同社の事業承継に関する覚書を締結しており、現在、両社間で事業承継契約ならびに株式引受契約を、また、オリックス・リアルエステート株式会社（以下、ORE）とOCDの間で大阪ドームの不動産売買契約を締結するための最終調整に入っていることについてご報告いたします。

オリックスグループがOCDの事業承継について、検討することを決定した要因は以下の通りです。

本件の一次入札が不調に終わった後、管財人および大阪市からOCDの事業承継受け入れにつき打診いただき、今日に至るまでオリックスグループを挙げて検討してまいりました。本件は、公共性の高い特殊な不動産が対象であるため、民間企業が取り組むには難しい面もありますが、オリックスグループでは、オリックス野球クラブ株式会社（オリックス・バファローズ）が神戸で球場運営を行うとともに、昨年からは大阪ドームもフランチャイズとしているうえ、OREの専門性を活かして、購入価格の妥当性、長期修繕費用の想定、ドーム機能の維持等を多角的に検討することができました。また、大阪市が現在OCDに行っている支援策の継続や関西財界からの応援等も確認できたため、今回の決断に至りました。

オリックス・バファローズは、OCDから大阪ドームを賃借して試合を行っていますが、今後オリックスグループが所有することによって、球団運営の自由度が高まり、お客様の視点に立ったリニューアルの実施等、効率的なドーム運営が可能になるものと考えています。

また、大阪では、大阪球場や日生球場、藤井寺球場が姿を消し、大阪ドームが現在プロ野球の試合を行っている唯一の球場となっています。オリックスグループがこの貴重な大阪ドームを取得し、これまで以上に有効活用することによって、プロ野球はもちろんのこと、アマチュアも含めた日本の野球界の発展に寄与できるのではないかと考えています。

オリックスグループは、OCD事業承継の正式契約をできるだけ早期に締結できるよう努力してまいります。これまで長年にわたって培ってきましたグループの英知を結集するとともに、大阪市や関西財界、そして市民の皆様をはじめとする多くの方々のご支援・ご協力もいただきながら、大阪ドームをこれまで以上に多くの方々にご来場いただける賑わいのある施設にしていきたいと考えています。また、オリックスグループは、大阪ドームにとどまらず、大阪をますます活気のある、魅力ある街とするためにお役に立つことができると考えております。

以 上

【オリックス・リアルエステート株式会社 概要】

- ・所在地：東京都港区浜松町2 - 4 - 1世界貿易センタービル
 <大阪支店>大阪市北区西天満1 - 7 - 20JIN・ORIXビル
- ・設立：1999年3月
- ・株主：オリックスグループ100%
- ・代表者：代表取締役社長 西名 弘明（オリックス株式会社取締役兼執行役副社長）
- ・事業内容：不動産の開発、分譲、賃貸、運営 等
- ・大阪での主な実績：

マンション分譲	クロスタワー大阪ベイ（弁天町）
	ザ・なんばタワー（難波）
	The Tower Osaka（福島）：7月より販売開始
研修所運営	クロス・ウェーブ梅田（扇町）
ホテル運営	ブルーウェーブイン四ツ橋（新町）
	ホテルリーヴァ南海（心斎橋）
商業施設運営	クロスモール（堺市南区）

本件に関するお問い合わせ先：

オリックス(株)

社長室広報グループ：吉田・石井 / Tel：03-5419-5102

球団に関するお問い合わせ先：

オリックス野球クラブ(株)

社長室：機谷（ハタタニ）・大西 / Tel：078-795-1257